

表20 崇神の年次表の解説

2009/10/14 by marishi

記載値			復元値			備考
西暦	年次	月日	年代	年次	年齢	
BC130	28辛亥	1月5日			19	崇神立太子19歳
BC98	60癸未	4月9日 10月3日	301辛酉			301年辛酉、開化崩御、陵に葬る 崇神19歳[49-30=19歳]
BC97	1甲申	1月13日 2月16日	302壬戌	1	52/20	302年壬戌、20歳、崇神即位元年
BC96	2乙酉*		303	2	53/21	(記事なし)
BC95	3丙戌	9月	304	3	22	磯城に遷都
BC94	4丁亥	10月23日	305	4	23	百官を集める
BC93	5戊子		306	5	24	疫病流行
BC92	6己丑		307	6	25	天照大神と倭大国魂を祀る
BC91	7庚寅	2月25日 8月7日 11月13日	308	7	26	大物主神を祀る
BC90	8辛卯	4月16日 10月20日	309	8	27	大物主神を祀る
BC89	9壬辰	3月15日 4月16日	310	9	28	黒坂神と大阪神を祀る
BC88	10癸巳	7月24日 9月9日 9月27日 10月1日 10月22日	311	10	29	大彦命らを四道に派遣、倭迹迹日百襲姫命
BC87	11甲午	4月28日	312	11	30	四道将軍らが平定、312年[4+28=32→312年]
BC86	12乙未	3月11日 9月16日	313	12	31	戸籍調べ、31歳[3月11(十一)日→31歳] 313年[3月十一日→31逆13←313年]
BC85~						記事なし
BC81	(17庚子)	7月1日 10月	318	17		船をつくる。17年の4倍は68年で同年→17年次 [7±1=6と8、10→68]
~BC51						
BC50	(48辛未)	1月10日 4月9日	318	17		皇子の夢。 垂仁立太子20歳→20年移動68年次
BC49 ~BC39						記事なし BC85~BC39の47年を減年
BC38	60癸未	7月14日	314	13		出雲の神室、出雲振根
BC37	61甲申*					記事なし、減年
BC36	62乙酉	7月2日 10月 11月	315	14		灌漑用溜池をつくる 17=68年次[(7+10)*4(2+2)=68][48+20=68]
BC35	63丙戌*					記事なし、減年
BC34	64丁亥*					記事なし、減年
BC33	65戊子	7月	316	15		任那国が朝貢
BC32	66己丑*					記事なし合計51年を減年
BC31	67庚寅*		317	16	35	(記事なし)
BC81 BC50 BC30	17庚子 48辛未 68辛卯	上記 上記 12月5日	318戊寅	17	119/36	17年の4倍は68年で同年→17年次 皇子の夢、垂仁立太子20歳→68=17年次 17年次[12+5=17] 318年戊寅、崇神崩御36歳、在位17年
BC29	1壬辰		319己卯			319年己卯、垂仁即位元年21歳

注1) \*印は「記事なし」を示す。

注2) 記載68年のうち、記事なし年は51年あり、記事のある17年が在位となる。

注3) 17庚子の17は在位17年の最後の年に相当する。(17=34=51=68)

説明)「10月、始めて船を造る」とあり、葬送用の船である。崇神は12月に崩御された。

注4) 記載上は崇神崩御年齢は120歳であるが、[開化28-崇神19立太子]から誕生を開化10年とすると

即位52歳、崩御119歳となる。即位実20歳、崩御実36歳は[開化28-崇神19立太子]を根拠とする。

崩御120歳、在位68年と仮定すると、即位は53歳実19歳(立太子と即位同年)、崩御実35歳、在位17年となる。

しかし、崩御120歳は年数が1年不足しており、これを解消するには立太子年(誕生年)の設定を

変えなければならない。従って、復元は崩御119歳を採用している

注5) 古事記記載の崇神没年干支は戊寅で、復元値と一致。